

# 最近の経済情勢

## (企業訪問調査の結果)

産業労働部

# 企業訪問調査の概要

---

- ◇ 調査期間      平成28年5月9日～5月20日
- ◇ 対 象            県内企業60社  
                          （製造業30社、非製造業30社）
- ◇ 方 法            訪問による聴き取り調査

# 1. 現在の景況感

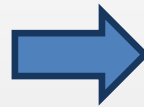
- 「上向き」と回答した企業は10社(16.7%)、「悪化」と回答した企業が15社(25.0%) (前回調査H27.11月比11社増)となっており、一部業種では平成28年熊本地震による影響がみられる。

H27

11月調査(60社)

(単位:社、%)

	企業数(割合)	うち製造業	うち非製造業
上向き	21 ( 35.0% )	12	9
横ばい	35 ( 58.3% )	17	18
悪化	4 ( 6.7% )	1	3



H28

5月調査(60社)

(単位:社、%)

	企業数(割合)	うち製造業	うち非製造業
上向き	10 ( 16.7% )	7	3
横ばい	35 ( 58.3% )	18	17
悪化	15 ( 25.0% )	5	10

参考H27.8月調査(60社)

(単位:社、%)

	企業数(割合)	うち製造業	うち非製造業
上向き	13 ( 21.7% )	6	7
横ばい	45 ( 75.0% )	22	23
悪化	2 ( 3.3% )	2	0



H28.1調査(60社)

(単位:社、%)

	企業数(割合)	うち製造業	うち非製造業
上向き	11 ( 18.3% )	4	7
横ばい	43 ( 71.7% )	23	20
悪化	6 ( 10.0% )	3	3

# 【参考】景況感の推移



注：景況感は「上向き」「悪化」などの足元の変化の方向性を調査

## 企業の主なコメント

- ・ 旅行・観光業界を中心に、熊本地震によりキャンセル・売上減少などの影響がある。
- ・ 原油安や円高・株安、電子デバイスの売上不振など海外向け製品に弱さがみられる一方、食品関係や硝子製品等により伸びを示している企業もある。

### 製造業



○食品工業用機械器具の大口取引があったことや、硝子加工事業、炭素事業で売り上げが伸びている。

7社

○熊本地震に伴い、熊本の同業者の工場が被災し当社への振り替え受注が発生している。



○原油安を背景に同社製品納入先が手がける海外プラントの建設件数が減少しており、同社も徐々に影響を受け始めている。

18社

○熊本地震の影響により、熊本からの仕事が増えている一方、円高・株安、人口減、電子デバイス(パソコン・スマートフォン等)の売上不振などの影響により、企業の設備投資が停滞し始めている。



5社

○熊本地震の影響で他社の自動車部品が生産できないため、当社製品の生産も中止。見込み生産はリスクが大きく不可能。

## 非製造業

3社

○震災支援のため、支援自治体の宿泊基地となったことにより売上増。

○日銀のマイナス金利により利回りは低下傾向。金利競争もあり、高い金利が取れない。一方、債券価格が上昇したため有価証券にはプラス作用。

17社

○バレンタイン、入学式等のイベントに係る売上は良いが、日常的にはお客様の財布がかたい。

○運送・物流は年々減少しているが、当社は取引先の新規出店等により、好調を維持。

10社

○地震の影響で修学旅行・インバウンド中心に数千名のキャンセル発生。現在やや持ち直しの傾向がみられるものの、修学旅行は数百人単位のため、埋め切れないだろう。

○貸切りバス事業は、熊本地震の影響で修学旅行や観光旅行の予約キャンセルにより、大幅に減収となっている。

○熊本地震の影響により観光客が減っており、旅館・ホテル等での宴会等が減少した結果、酒類の販売が約10%落ち込んでいる。

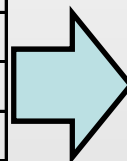
## 2. 現在の経営課題（複数回答）

- 経営課題としては割合の変動はあるものの前回同様「求人難」（40.0%）が最も多く、次いで「設備等の老朽」（31.7%）となっている。
- 新設項目の「販路拡大」（26.7%）も製造業を中心に多くの企業が課題に挙げている。
- 一方、「原材料・原油高」（10.0%）は13.3%減少した。

H27年11月調査(60社)

(単位:社、%)

	企業数(割合)	うち製造業	うち非製造業
求人難	29 ( 48.3% )	14	15
設備等の老朽	18 ( 30.0% )	13	5
利益減少	15 ( 25.0% )	7	8
原材料・原油高	14 ( 23.3% )	10	4
過当競争	10 ( 16.7% )	3	7
売上不振	9 ( 15.0% )	3	6
電気料金値上げ	6 ( 10.0% )	3	3
新技術の開発・研究	5 ( 8.3% )	5	0
販売経費増	4 ( 6.7% )	1	3
借入金返済	3 ( 5.0% )	1	2
借入難	1 ( 1.7% )	0	1
為替変動	1 ( 1.7% )	1	0
事業継承	1 ( 1.7% )	0	1



H28年5月調査(60社)

(単位:社、%)

	企業数(割合)	うち製造業	うち非製造業
求人難	24 ( 40.0% )	10	14
設備等の老朽	19 ( 31.7% )	11	8
販路拡大	16 ( 26.7% )	11	5
利益減少	13 ( 21.7% )	4	9
売上不振	10 ( 16.7% )	1	9
原材料・原油高	6 ( 10.0% )	4	2
海外進出	5 ( 8.3% )	4	1
過当競争	5 ( 8.3% )	0	5
新技術の開発・研究	5 ( 8.3% )	5	0
電気料金値上げ	4 ( 6.7% )	2	2
為替変動	2 ( 3.3% )	1	1
借入金返済	2 ( 3.3% )	0	2
仕入先変更	1 ( 1.7% )	0	1
事業継承	1 ( 1.7% )	1	0
借入難	1 ( 1.7% )	1	0

# 企業の主なコメント

---

## 製造業

- （販路拡大）シンガポール・台湾などへ販路拡大を目指している。
- （設備等老朽）作業工程を自動化するための新型機器の導入と老朽化による機器の買換えを検討している。
- （求人難）募集は常にハローワークに出している。事務員・作業員は入るものの営業職が見つからない。

## 非製造業

- （求人難）小売業全体として人手不足の状態である。企業説明会等に積極的に参加し、問題解決に取り組んでいるがなかなか改善されない。
- （売上減少）大宴会や結婚式など、以前のような時代ではなくなっている。
- （利益減少）リース料で利益を出しているが、企業や官公庁の経費削減、情報のデジタル化が進み、利益が出にくくなっている。
- （設備等の老朽化）LED化、トイレの改修、リフトをガスから電気に変更するなど対応している。建物自体が古いため建て替えも視野に入れている。



### 3. 今後の設備投資（製造業）

- 「積極的な設備投資」(36.7%)、「昨年並み」(40.0%)を合わせると、75%以上の企業が昨年並以上の設備投資を検討している。
- 設備投資の目的としては、「設備更新」が最も多い。

H27

11月調査(30社)

(単位:社、%)

	企業数(製造業)(割合)
積極的	11 ( 36.7% )
昨年並み	12 ( 40.0% )
控える	2 ( 6.7% )
計画なし	5 ( 16.7% )



H28

5月調査(30社)

(単位:社、%)

	企業数(製造業)(割合)
積極的	11 ( 36.7% )
昨年並み	12 ( 40.0% )
控える	4 ( 13.3% )
計画なし	3 ( 10.0% )

参考

H27.8月調査(30社)

(単位:社、%)

	企業数(製造業)(割合)
積極的	7 ( 23.3% )
昨年並み	16 ( 53.3% )
控える	4 ( 13.3% )
計画なし	3 ( 10.0% )



H28.1月調査(30社)

(単位:社、%)

	企業数(製造業)(割合)
積極的	6 ( 20.0% )
昨年並み	17 ( 56.7% )
控える	3 ( 10.0% )
計画なし	4 ( 13.3% )

## 設備投資の目的（複数回答）



## 企業の主なコメント

- 計画に沿って、生産設備の定期的な更新を行っている。また、取扱商品の品質向上のための設備バージョンアップも順調に行っている。  
(医薬品製造業)
- 6月から大手コンビニと取引開始。その設備として今期1億円を投資。(食料品製造業)
- リードタイムの短縮を図るべく、外注していた工程を内製化するため新規機械の導入を予定している。  
(家具・装飾品製造業)

## 4. 雇用状況

- 製造業では46.7%の企業が不足と回答し、11月調査時点と同じく、不足感が続いている。
- 非製造業においても66.7%の企業が不足と回答しており、11月調査時点の56.7%を10.0ポイント上回り、不足感が強くなっている。

H27.11月調査(60社)

(単位:社、%)

	企業数(割合)	うち製造業(割合)	うち非製造業(割合)
過剰	2 ( 3.3%)	2 ( 6.7%)	0 ( 0.0%)
適正	27 ( 45.0%)	14 ( 46.7%)	13 ( 43.3%)
不足	31 ( 51.7%)	14 ( 46.7%)	17 ( 56.7%)



H28.5月調査(60社)

(単位:社、%)

	企業数(割合)	うち製造業(割合)	うち非製造業(割合)
過剰	3 ( 5.0%)	0 ( 0.0%)	3 ( 10.0%)
適正	23 ( 38.3%)	16 ( 53.3%)	7 ( 23.3%)
不足	34 ( 56.7%)	14 ( 46.7%)	20 ( 66.7%)

参考

H27.8月調査(60社)

(単位:社、%)

	企業数(割合)	うち製造業(割合)	うち非製造業(割合)
過剰	2 ( 3.3%)	0 ( 0.0%)	2 ( 6.7%)
適正	24 ( 40.0%)	13 ( 43.3%)	11 ( 36.7%)
不足	34 ( 56.7%)	17 ( 56.7%)	17 ( 56.7%)



H28.1月調査(60社)

(単位:社、%)

	企業数(割合)	うち製造業(割合)	うち非製造業(割合)
過剰	2 ( 3.3%)	0 ( 0.0%)	2 ( 6.7%)
適正	27 ( 45.0%)	15 ( 50.0%)	12 ( 40.0%)
不足	31 ( 51.7%)	15 ( 50.0%)	16 ( 53.3%)

## 企業の主なコメント

### 製造業

- これまではハローワークでの募集のみであったが、人材が集まらないので新卒(大学)対象の企業説明会への参加を通じて採用に繋げたい。
- 技術工・単純工ともに不足している状況。
- 営業と管理の人材が不足。
- 正社員を採用したいが、応募がないため、派遣で対応している状況。

### 非製造業

- 20人規模での採用を考えている。  
以前と比べて給与水準も上げているが、不規則勤務等により、なかなか応募がない。
- 4月の定期採用に加え、中途採用も随時行っている。パートから正社員に登用しているケースもある。
- 有資格者の確保に苦慮している。
- 近隣企業並みの募集金額にすれば、雇用中のパート全員の時給引き上げとなり負担が大きい。職場環境・福利厚生等の面でカバーしたい。